



採用ポジション：衛星画像データ処理エンジニア

■ご応募に関しまして

連絡先：QPS 研究所採用担当 hr@i-qps.com

件名に「衛星画像データ処理エンジニア」とポジション名を明記いただき、履歴書、職務経歴書をお送りください。新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大状況を鑑みて、面談形式（オンラインもしくは対面）については、随時ご相談させていただきたく存じます。入社時期に関しましても柔軟に対応いたしますので、ご不明な点はお気軽にご連絡ください。

項 目	内 容
雇 用 形 態	正社員
採 用 人 数	1名
職 務 内 容	<p>■ 弊社の人工衛星コンステレーション事業において、衛星で撮影した SAR データを元としたその処理・解析ソフトウェアの開発</p> <p>【具体的な職務内容】 弊社衛星により取得した SAR データを元とし、データ処理・解析（画像化および各種付加機能）に関するソフトウェア開発を担当していただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ SAR データの画像化処理ソフトウェアの開発・ 画像の各種補正や高精度化を行うアルゴリズムの開発・ 最先端の画像処理アルゴリズムの研究開発
必 要 条 件	<p>■ 必要要件</p> <ul style="list-style-type: none">・ MATLAB を用いたデータ処理プログラム開発経験を有していること・ リモートセンシング画像処理の研究、開発の経験を有していること・ ArcGIS や QGIS 等の地理情報システム（GIS）ソフトウェアの経験を有していること・ 並列コンピューティングに関する開発経験を有していること <p>■ 歓迎条件</p> <ul style="list-style-type: none">・ リモートセンシング、もしくは人工衛星に関連のある分野の修士号以上を取得している方・ 機械学習やディープラーニングに関する開発経験・ クラウドコンピューティングに関する開発経験・ 英語での技術上のコミュニケーション
応 募 書 類	<ul style="list-style-type: none">・ 履歴書・ 職務経歴書
募 集 背 景	<p>弊社の衛星 1 号機「イザナギ」は 2019 年 12 月にインドの宇宙センターから、2 号機「イザナミ」は 2021 年 1 月にアメリカのスペース X 社のファルコン 9 にて、打ち上げに成功いたしました。3 月には初画像取得にも成功しています。</p> <p>現在、3 号機以降の衛星量産体制を整え始めており、2025 年には 36 機の衛星によって、地球のほぼどこでも任意の場所を平均 10</p>



	<p>分間隔で観測データを提供できるようになることを目標としています。</p> <p>36機の衛星コンステレーションを実現し、かつ平均10分間隔で観測データを顧客に提供するためにSARデータの画像化並びに最先端の並列コンピューティング技術を駆使した画像処理の高性能化が不可欠となります。そのためのデータ・画像化処理全般をご担当いただける方を募集します。</p> <p>小型SAR衛星のコンステレーション構築という、世界初の壮大なプロジェクトのためにご自身のスキル・経験を宇宙開発という領域で活かし、世界に新しい価値を生みたいという方をお待ちしています。</p>
勤 務 地	福岡市
予 定 年 収	<p>■年収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・400万円～600万円 ・固定残業代（40時間/月）含む
休 日	<ul style="list-style-type: none"> ・年間休日124日（完全週休2日制※土日祝日） ・年次有給休暇 ・慶弔休暇
福 利 厚 生	<ul style="list-style-type: none"> ・健康保険 ・厚生年金 ・雇用保険 ・労災保険 ・通勤手当（会社規定あり、上限3万円/月）
就 業 時 間	<p>■スーパーフレックスタイム制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日の標準労働時間：8時間